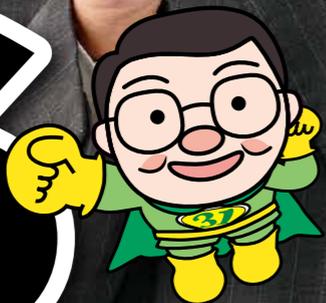


くれまつ

佐一

愛知県労働組合総連合議長



格差と貧困をなくし
いのちとくらしが
輝くあいちへ



WEBサイト



Facebook

～ごあいさつ～

いま、ふつうのくらしをしていくのがたいへんな時代になっています。この20年間は給料は減るのに、税金、保険料があがっています。こどもの貧困、若者の貧困、下流老人と様々な分野で困っている人が増えています。

私は生協に就職して今は労働組合の役員をしていますが、困っている人をみんなで助け合うことを大切にしてきました。いま、くらしに困った人をなんとかしようと市町村のみなさんが奮闘されています。この土台を支えるのが県政です。

全国第2位の財政力を県民のくらしのために使うことで、誰もがふつうのくらしができるようにしたいと思います。

profile

1956年生まれ。1978年名古屋大学理学部物理学科卒。同めいけん生協に就職。1999年日本福祉大学大学院に社会人入学、情報・経営開発研究科修士課程修了。2001年愛労連事務局長に就任。2005年名古屋市長選挙に立候補。2009年愛労連議長に就任。2010年全労連幹事に就任、現在に至る。この間に外国人実習生支援、反貧困、奨学金、生活保護、原発ゼロ、メディアシンポ、カジノ、名古屋城天守閣木造化反対など様々な市民運動を担当。

革新県政の会

日本共産党推薦

2019年2月3日

愛知県知事選挙

みんなの県政

2018年号外

革新県政の会は、くれまつ佐一さんを県知事候補として発表しました。くれまつさんの活動をご紹介します。

発行：革新県政の会 〒462-0845 名古屋市北区柳原3-7-8

TEL (052) 916-2148 FAX (052) 916-4189

革新県政の会 検索

誰もがふつうのくらしができるように

頑張っている人、困っている人を

応援します



子ども、高齢者、障がい者、
住民のくらしを優先に

子どもの医療費無料化高校卒業、18歳まで拡大。小中学校で35人学級を拡大します。リニア、中部空港第二滑走路は中止を含め見直し、カジノは絶対に認めません。国と県の責任で、国保料を1万円引き下げます。

愛知の優れた技術を次の世代に

自動車生産などで磨き上げた技術を活かす中小企業を応援します。消費税増税に反対します。

海、山、川、愛知の
豊富な自然を活かします

大地震、防災対策を最優先します。原発ゼロ、再生可能エネルギーをすすめます。身近な公園、スポーツ施設を整備します。

非核・平和を世界に発信

名古屋空港の核戦闘機F35拠点化は認めません。核兵器のない世界をめざします。子どもたちを戦争に巻き込む憲法9条改悪に反対します。

若者、女性が
元気に働ける愛知に

若者が一人で行くように家賃補助、県営住宅修繕を行ないます。最低時給千円の公契約条例を実現します。



はたらくものの権利を守る先頭に立つくれまつさん

外国人実習生も支援

くれまつさんは技能実習法案の衆院法務委員会に参考人として出席。相談を受けている実習生の実態を明らかにしました。

また中小企業の実態も調査、縫製業で残業代500円が相次ぐ背景に下請工賃が上がっていないことをとりあげました。経産大臣が約束した調査でその実態が明らかになりました。

くれまつさんの活動は新聞やテレビで紹介され、NHKの「NEXT 未来のために」では全国放送されました。



衆議院法務委員会での発言するくれまつさん

高すぎる介護保険料や国保料 なんとかしてほしい! 今の県政



教育・医療・福祉「下位脱出」は可能!

愛知県の財政力は東京都に次ぎ第2位なのに、教育・医療・福祉の予算は全国最低レベルを長年続けています。

予算の使い方・優先順位を、「リニア・ジェット・次世代自動車」などの大企業への投資や「国際展示場やIR(カジノを含むリゾート施設)、中部空港第2滑走路」などの大型開発から県民の命と暮らし第一に切り替えれば、全国並みのレベルに引き上げることは十分可能です。

愛知版アベノミクス(「世界で一番企業が活

躍しやすい国」づくりに追随)の発想を転換し、県民のいのちと暮らしに直結する県政になれば、安心と希望が生まれ、県民みんなが元気に働き続けられるようになります。

さらには、核爆弾を搭載できる戦闘機 F35 の整備拠点ではなく、非核平和を世界に発信する先進県をめざせます。

くれまつ佐一とご一緒に、「格差と貧困を広げ、軍事拠点の危険を高める大村県政」をチェンジしましょう。

教育 教育にかかる児童・生徒一人当たりの予算(47 都道府県中)

小学校	45 位	高等学校	44 位
中学校	47 位	特別支援学校	46 位



医療 人口 10 万人あたり (47 都道府県中)

一般病院のベッド数	45 位
看護師数・準看護師数	41 位

福祉 65 歳以上人口 10 万人あたり(47 都道府県中)

特別養護老人ホーム数	47 位
------------	------

総務省「統計でみる都道府県のすがた2018」より

この姿勢が県立高校の雨漏り放置、クーラー経費のPTA押し付け、看護師不足なのに看護師修学貸付金の廃止に向ってしまうのです。



高等学校の雨漏り



県営名古屋空港に隣接する三菱重工小牧南工場を、F35 戦闘機の整備拠点にする計画を大村知事は容認。核兵器禁止を求めるヒバクシャ国際署名には応じようとしません。

安倍政治
No!

消費税増税と 憲法9条改定はストップを!

消費税 10%に引き上げを決め、社会保障費削減をつづけ、わたしたちの生活をこわすアベ政治。原発再稼働をひろげ、「原発ゼロ」の国民の願いに応えようとしていません。

アベ政治の6年間、国民生活は格差と貧困がひろがっています。国民生活の痛みや不安をうけとめ、それを最小限にするのが政治の役割です。



消費税 10%に引き上げ(来年 10 月)
「共同」9 月 20、21 日調査

森友・加計疑惑

「お友だち」への利益誘導でゆがんだアベ政治 改ざん、隠ぺい、忖度

アベ政治は、国民みんなの福祉よりも一部の「お友だち」利益優先。特に、米国からの多額の武器を購入し、基地拡大、合同訓練など海外で戦えるように自衛隊の姿を変えています。世論調査では、アベ内閣の説明に多くの国民が納得していません。



県政は 県民が主人公

一人ひとりによりそい、どこでも地域住民が安心・安全に暮らしつづけられるように、きめ細かな施策をすすめることが大切です。

革新県政の会とは

私たちは、県民のくらしを守る要求を持ち寄り、その実現のための県政を願って、1982 年から活動が続いています。正式名称は「くらし・教育・平和を守る清潔な革新県政をつくる会」です。

会には労働組合、中小商工業者、女性、障害者、医療・福祉従事者など様々な市民団体と個人、政党で

は日本共産党が参加しています。会以外の市民団体や政党にもよびかけ、知事選挙に取り組んできました。

今回は、くれまつさんの「ふつうのくらしができる社会を」「困っている人をみんなで助けたい」という決意に応じて、県民の皆さんの声をあつめて、県政を変えるため頑張ります。



代表常任幹事 医師 土井敏彦

「私も、くれまつ佐一さんを支援します」

(50音順)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 池住 義憲 (元立教大学大学院教授) | 小中 陽太郎 (作家、元日本ペンクラブ専務) |
| 宇都宮 健児 (弁護士、元日弁連会長) | 沢田 昭二 (名古屋大学名誉教授) |
| 小野 万里子 (弁護士、セイブ・イラクチルドレン名古屋) | 田邊 準也 (めいきん生協(現コープあいち)元専務理事) |
| 北村 栄 (脱原発弁護団団長) | 田巻 紘子 (弁護士) |
| 具志堅 邦子 (愛知沖縄会議) | 西 英子 (ともに市民運動をすすめる友だち) |